

交通安全は
家庭から



県交母だより

第37号

福島県交通安全母の会連絡協議会
発行責任者 齋藤和子
(題字 名誉会長 山崎信子)

第49回 通常総会



福島県自動車会議所様への感謝状贈呈



小林豊子きもの学院様への感謝状贈呈

令和二年の第四十九回通常総会は、かつてない新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催となりました。

今年度は役員改選にあたる事もあり、常任理事会及び理事会において「会則の一部変更」の協議を重ね承認された内容を提出した結果、理事選出区・選出人数の改正が承認され、新会長には山崎名誉会長の遺志を継いだ齋藤和子さんが再任されました。その他、今年度の事業計画案や予算案などの議案について、過半数の同意が得られ、全て議決されました。

この度の表彰につきましては、長年に渡り顕著に母の会活動を進めてきた優良市町村交通安全母の会五団体、優良交通安全母の会各員十六名、退任役員一名に、受賞者がいる各市町村交母を通じて表彰状が送付されました。

また、本協議会に多大なご協力を頂いております一般財団法人福島県自動車会議所様、小林豊子きもの学院東北本部福島講師会様には、齋藤会長がそれぞれに直接訪問し、感謝状が贈呈されました。

さらに、山崎信子賞顕彰委員会へ寄附された齋藤和子様、安齋ミツル様には、創立五十周年記念事業実行委員会の席上で、感謝状が贈呈されました。

コロナ禍での総会書面開催。山崎名誉会長の突然の訃報に心が痛みましたが、誰よりも母の会を大切にしていた山崎名誉会長への報恩感謝として、創立五十周年記念事業を齋藤会長とともに新役員が一致団結して大成功にすべく、新体制がスタート致しました。

第49回通常総会受賞者

○福島県交通安全母の会連絡協議会表彰

【優良市町村交通安全母の会】

- 渋川交通安全母の会 (二本松市)
- 石田地区交通安全母の会 (伊達市)
- 鏡石町交通安全母の会 (鏡石町)
- 皮籠石行政区交通安全母の会 (小野町)
- 岩月地区交通安全母の会 (喜多方市)

【優良交通安全母の会員】

- | | | | |
|------------|------------|-------------|-------------|
| 三浦テツ子(福島市) | 佐久間弘子(国見町) | 鈴木 千代(白河市) | 鈴木あや子(西会津町) |
| 長南千恵子(福島市) | 半澤 征子(鏡石町) | 兵藤 鈴江(泉崎村) | 平野 理砂(南会津町) |
| 菅野トミエ(伊達市) | 人見 美智(浅川町) | 荒澤登志子(喜多方市) | 中津川洋美(新地町) |
| 阿部由美子(桑折町) | 佐久間杉子(小野町) | 佐藤ますみ(喜多方市) | 猪狩 晴美(いわき市) |

○福島県交通安全母の会連絡協議会退任役員感謝状

菊地 美枝(矢吹町)

○福島県交通安全母の会連絡協議会感謝状

一般財団法人福島県自動車会議所 小林豊子きもの学院東北本部 福島講師会
齋藤 和子 安齋ミツル

役員名簿(常任理事以上)

(令和2年6月17日)

副会長	齋藤 和子(いわき市)
会長	丹治 吉(福島市)
常任理事	林 仁子(南相馬市)
〃	柳沼 則子(郡山市)
〃	宇月 静子(猪苗代町)
〃	安齋ミツル(二本松市)
〃	添田喜美代(鏡石町)
〃	金内奈緒子(石川町)
〃	高畑 京子(会津若松市)
〃	志賀 智子(いわき市)

あいさつ

福島県交通安全母の会連絡協議会
会長 齋藤 和子
福島県交母 十一万余会員の皆様、令和三年の新春を迎えられました事、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス対策で頭を痛めた一年でありました。現代の文明社会に生きる私達にとって、経験した事のない、未曾有の忌々しい事態に遭遇し、期待していた東京オリンピック・パラリンピックの延期を始め、多くの行事やイベントが中止・縮小を余儀なくされたこと、残念でなりません。

このような状況の中でありまして、各種対策を講じられました行政・学校関係者・医療関係者の皆様方の献身的な活動に對しまして、子を持つ母親として、衷心から敬意と感謝を申し上げます。次第でございます。

今年も、当協議会の発足の原点である「交通安全は家庭から」の基本活動を推進するとともに、本年九月に実施予定の、本協議会発足五十周年記念事業を成功させるよう会員一丸となり頑張りたいと思っておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

交通安全トピックス

◎横断歩道は歩行者優先!

信号機のない横断歩道を渡ろうとする歩行者を見かけたら、一時停止していますか?

J A F (一般社団法人日本自動車連盟)が令和2年8月に実施した調査によると、信号機のない横断歩道に歩行者がいる時にドライバーが一時停止する割合は、本県は27.0%(全国15位)と、全国平均の21.3%を上回り、昨年より改善したものの、依然として7割以上の車が停止していない結果となりました。

横断歩道は歩行者が優先です。横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる時は、手前で一時停止し、その通行を妨げはならないと道路交通法に定められています。止まることはマナーではなくルールですので、必ず停止しましょう。交通ルールとマナーを守り、ゆずりあい、思いやりのある運転を心掛け、交通事故をなくしましょう。

当連絡協議会などで構成する県交対策協議会では、歩行者保護の意識向上を図るため、女優の武田玲奈さん(いわき市出身)にご出演いただき、ドライバーに信号機のない横断歩道での一時停止を呼びかけるCMとポスターを制作しました。

このCMは、交通安全運動の期間などに県内の民放テレビ・ラジオ各局で放送されるほか、YouTube福島県公式チャンネル(以下のQRコード)でもご覧いただけます。



誰も止まってくれない編



渡る際には意思表示編



◎新交通安全スローガン決定!

当連絡協議会などで構成する県交対策協議会では、令和2年9月1日から10月31日までの間、令和3年から使用する交通安全スローガンを募集したところ、総数787作品の応募がありました。

選考の結果、以下のとおり入賞作品が決定しました。

入賞作品は、令和3年1月以降、交通安全運動などの際で使用されます。

- 【年間スローガン(最優秀賞)】
わたります 止まるやさしさ ありがとう
(鈴木 尚修 郡山ザベリオ学園小学校5年)
- 【優秀賞】
安全は 気づばり 目くばり 思いやり
(渡辺 富士夫 福島市 無職)
- 気をつけよう 人も車も ディスタンス
(宇南山 葵 郡山市立富田東小学校2年)
- 【佳作】
ゆずりあい「お先にどうぞ」で 事故ゼロへ
(須田 千裕 いわき市立湯本第一中学校3年)
- ぼくを見て 横断歩道の 小さな手
(宗形 寛紀 郡山市 会社員)
- 命より 大切ですか そのスマホ
(西山 幸 いわき市 会社員)
- ちかいます ルールをまもり こうつうあんぜん
(阿部 清香 白河市立白河第三小学校1年)
- 無事故で!と エールよびひげ うつくしま
(猪俣 ひろみ 会津若松市 公務員)

◎齋藤会長ラジオ番組に出演

当協議会の齋藤会長がラジオ番組「RFC命を守るキャンペーン」に出演し、交通安全母の会の取組についてアピールしました。

県交母の事業や各市町村交母の活動などについて紹介するとともに、「命大切に」、「交通安全は家庭から」というスローガンの下、家庭や地域において交通安全教育を推進し、母親の力を結集して交通事故のない安全・安心な社会の実現を目指すという本会の役割などについてPRしました。

この番組は、令和2年7月28日に収録が行われ、8月10日にラジオ福島で放送されました。

表彰

★福島県知事表彰

金内 奈緒子 さん(石川町)

受賞コメント

この度は誠にありがとうございました。これもひとえに故山崎名誉会長、齋藤会長、会員の皆様方のご指導、ご支援の賜と感謝申し上げます。今回の栄誉を心の励みとし、尚一層母の会活動に努めてまいります。

編集後記

令和二年は、日本のみならず全世界が新型コロナウイルスに苦しみ悩まされた年でしたが、会員の皆様には、通常の活動が制限される中、各種事業等にご協力をいただき誠にありがとうございます。

四月には、山崎名誉会長の突然の訃報があり、頼りにしていた人が亡くなり悲しい思いをしております。名誉会長の教えを引継ぎ、役員一丸となって県交母を盛り上げ、活動していきたいと思っております。

交通安全母の会の基本理念である「交通安全は家庭から」のスローガンのもと、母親の力を結集し、心を支えあう絆づくりを一層取り組むとともに、「命大切に」を呼びかけ、交通事故防止を呼びかけていきたいと思います。

今後とも、尊い命を守る活動にご協力をお願い申し上げます。また、新型コロナウイルスの早期終息を願ひ、編集後記といたします。

山崎信子名誉会長 逝去



山崎信子名誉会長

山崎信子名誉会長は令和二年四月二十六日未明、喜多方市の自宅にて急逝されました。九十二才のご生涯でした。常にお元氣なお姿を拝見していただけたに、残念でなりません。母の会では時には姉であり母として慕われ、魅力のある大先輩でした。その時その一言で私達は成長させて頂いたような気がします。本当にありがとうございます。略歴とご功績を称えて記させていただきます。

昭和三年四月二十五日喜多方市で生を受け、福島県国民学校初等科訓導喜多方養成所を修了され、学徒動員で太平洋戦争を体験し「命の大切さ」を実感したとおっしゃっていた日が思い出されます。昭和二十一年から昭和五十年まで小中学校の教諭として教壇に立ち、在職中は自ら先頭に立ち、登下校時の交通安全指導や交通事故防止の啓発活動に積極的に取り組まれるなど、交通安全母の会の結成に尽力なされました。

昭和五十一年四月より平成二十八年四月までの長い年月にわたり、喜多方市交通安全母の会連絡協議会長として先頭に立ち、交通事故防止ひとすじに力を注がれました。昭和六十一年五月より平成二十八年五月まで、福島県交通安全母の会連絡協議会第三代会長として県内の市町村を一つに取りまとめ、昭和六十三年には、県内全九十市町村交母加入を達成した手腕は見事なもので、誰もが認める状況だったと聞いています。

平成十五年五月より平成二十一年五月までは、社団法人全国交通安全母の会連合会長として、北海道から沖縄まで出向き、会員に勇気を与え、行動力のみでなく、真の母の会長であったと賞賛されています。昭和五十八年には喜多方市議会議員として尽力なされたほか、福島県社会教育委員副会長等数々の要職を歴任し、幅広い分野で活躍なされました。平成十二年には勲五等宝冠章、十八年には緑十字金章顕彰等あらゆる分野で栄えある受賞をなされております。

また、「県交母の歌」の作詞作曲者でもあり、昭和六十三年から歌い継がれているところとです。

山崎信子賞創設の経緯については、約半世紀にわたり他の模範となり交通安全活動に尽力されてきた山崎信子氏の功績を讃え、末長く後世に引き継ぐため、平成二十九年に創設され、平成三十年の母親大会において初めて授与されました。この賞を通じて、名誉会長の志である命の大切さを後世に引き継ぐことをお誓いいたします。

山崎名誉会長のご冥福を

お祈りいたします。



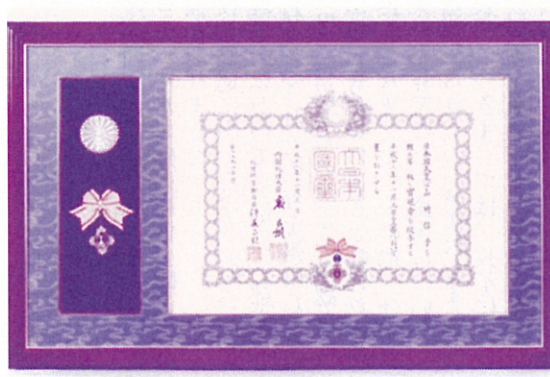
母親大会で「県交母の歌」の歌唱指導をする名誉会長



母親大会で講演する名誉会長



仮設住宅を訪問する名誉会長



勲五等宝冠章を受賞



交通安全キャラバンの様子

市町村からこんにちは ～市町村交母の取組～

県内各市町村交母会では、県交母事業の他に、高齢者や幼児、ドライバーに対し積極的に交通安全啓発活動を実施しております。本年度は新型コロナウイルスの影響で人との接触を避けるため、大規模な啓発活動やキャンペーンといった事業が中止される中、各市町村の交母会においては、感染拡大防止対策に留意しながら啓発活動を実施いたしました。私たちは「交通安全は家庭から」をスローガンに悲惨な交通事故を一件でも無くすため、母親の目線から家庭や地域に根ざした活動をこれからも継続していきます。



【福島市交通安全母の会】
R 2.10.15 国道13号福島北警察署入口交差点



【国見町交通安全母の会】
R 2.10.15 道の駅国見あつかしの郷



【大玉村交通安全母の会】
R 2.10.14 PLANT5大玉店



【南相馬市交通安全母の会】
R 2.10.15 小高区役所前



【鏡石町交通安全母の会】
R 2.10.16 鏡石町役場前交差点



【白河市交通安全母の会】
R 2.10.19 表郷小学校鼓笛パレード



【西郷村交通安全母の会】
R 2.10.15 国道4号西松屋前



【会津若松市交通安全母の会】
R 2.10.15 主要地方道会津坂下・河東線



【西会津町交通安全母の会】
R 2.10.15 リオンドール野沢店

本協議会は、令和三年度に創立五十周年を迎えます。記念事業として、記念誌「母の会五十年のあゆみ」の発行と、創立五十周年記念交通安全母親福島県大会の開催について、今年度の通常総会において承認されました。

七月七日に開催した常任理事会において、常任理事などをメンバーとする実行委員会を立ち上げ、八月と十一月に会議を開催し、記念事業の実施に向けて準備を進めております。

記念誌では、県交母五十年のあゆみを振り返るほか、各地域の活動紹介なども盛り込む予定です。

記念大会については、九月上旬に福島市内のホテルにおいて、祝賀会と併せて開催する方向で調整しており、四月に急逝された山崎信子名誉会長を偲び功績を讃える内容についても検討しているところです。

創立三十周年を祝ったのは、平成十三年七月十六日から十七日。石川町の八幡屋及びうつくしま未来博のメインステージ

ジにおいて、北海道・東北ブロック講習会と併せての開催でした。あれから二十年が経ちます。

また、まもなく十年となる東日本大震災及び原発事故により、母の会活動もままならず、まだ故郷に帰れない、又は帰らないと決めて他所で辛い心を持ち続け生活されている人たちもいらつしやいます。このうつくしい福島で生きている幸せを感じつつ五十周年を迎えましょう。

会員の皆様にはご協力をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。新型コロナウイルスの早い終息を願ひつつ。



実行委員会の様子

県交母創立五十周年に向けて